

## 1. 教育のまち「開成」におけるプログラミング教育と英語教育について問う

グローバル化やA Iなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代。子ども達には自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められる。学校での学びを通じ、子ども達がそのような「生きる力」を育むために、来年度から小学校、再来年度から中学校の学習指導要領が改訂され、全面実施される。その中で特に注目されているのがプログラミング教育と英語教育である。

小学校でのプログラミング教育の必修化、令和3年度からの中学校でのプログラミング教育の拡充、それ以降も高校での必修化、大学入学試験での導入検討となっている。また、英語教育においては小学校3、4年生からの外国語活動、小学校5、6年生は外国語が教科となっております。

教育の町として、これから社会を生きていく子ども達にとって、極めて重要だと考えるプログラミング教育と英語教育をどのような位置づけで考えているのか。

- ① 来年度から全面実施されるプログラミング教育に向けた準備状況と見通しは。
- ② 小学校における外国語活動の現状と課題は。